

教科書

日本酒

新しい

の

47 都道府県の日本酒事情

SAKEの
新・日本地図

岐阜



多様な個性で百花繚乱。
岐阜の酒は奥深い

地方による大まかな分類は語れるものの、細かく見ていくとひとくくりにできないほど個性派が揃っているのが、岐阜の日本酒の面白さ。たとえば、古酒で知られる白木恒助商店の「達磨正宗」、とびっきりの辛口が映える三千盛の「三千盛」がその典型だ。

蔵が50軒以上と数が多く、いい意味での競い合いが生まれる結果、まだまだ人知れず花を咲かせている酒も多い。全般的に「香りよりも味重視の酒が増えてきた」(酒の浪漫亭・舘さん)とのこと。

そんな中、バランスの良さで推したいのは、三千櫻酒造の「三千櫻 純米」。静岡の酒を彷彿とさせる、繊細できれいな味わいで魅せる。

逆に圧倒的な重量感で攻める個性を堪能するなら、中津川にある恵那醸造「鯨波 純米吟醸」を。「いちごのような香りが、旨味をやわらかく包む」(酒泉洞堀一・小久保さん)。心白が大粒な県産酒造好適米「ひだほまれ」の特性を、存分に生かした酒だ。

繊細できれいな味わいが魅力の「三千櫻」



蔵

甘い
迷い

全
時代
知多
の輪
は4
蔵も
三
「
忠
が
く
よ
ん
は

純

れ
な
て